

16/9月 週

玉崎

子どもだけで遊び・登下校も禁止

埼玉県議会で日本共産党県議団から提出された、「虐待禁止条例改正案」において、子供を離れていたる保護者がい放つての声が急速に広がっています。日本共産県議会と県議団は「抗議声明を出し、13日の本会議にむけて、広範な県民による世論運動を大規模に、条例案を撤回せらる決意を表明しました。

13日本会議へ世論をひらく

況に離かれたまゝとして禁止し、児童とは虐待を受けた児童を発見した際に通報する義務を、県には児童放置

を防止する施策を講ずる必要があります。党県議会と県議団は、声明で「同条例案は、児童の保護者の事情によっては、児童の保護者を離れていたる事態を防ぐためのもの」として、児童の放置を禁止し、保護者たちに過度な精神的・肉体的・経済的負担を強いるもの」と批判。

玉県労働組合連合会などは、「虐待禁止条例改正案の撤回を求める埼玉県の会」を立ち上げ、署名活動を開始。新婦人県本部は10～13

日の連日、正午から埼玉県庁前で反対集会を開きました。

一方、埼玉県立P.T.A協議会は「虐待防止だつながらない」として反対意見書を公表し、オンライン署名を開始しました。

新日本婦人の会と埼玉県労働組合連合会などは、「虐待禁止条例改正案の撤回を求める埼玉県の会」を立ち上げ、署名活動を開始。新婦人県本部は10～13

同条例案は虐待に該当するほかに、短時間の

当時の最短時間の児童放

置も児童が危険な状

況に離かれたまゝとして

虐待を受けた児童を発見した際に通報する義

務を、県には児童放置